

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 4 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1. 2022年7月 排水処理 調整槽・酸化槽用エア設備改修 (ブロワ2基削減) 2. 2022年8月 冷凍倉庫用冷凍機にサイクリック制御し節電					
温室効果ガスの吸収等	区 分	区 分				実施年度 (令和 4 年度)	
						二酸化炭素換算 (t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等				t-CO ₂	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用				t-CO ₂	
		グリーン電力証書の購入				t-CO ₂	
		グリーン熱証書の購入				t-CO ₂	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO ₂	
		国内クレジットの購入				t-CO ₂	
J-クレジットの購入				t-CO ₂			
合 計		①				t-CO ₂	
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (令和 1 年度)	目標年度 (令和 4 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 4 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 5,542 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 5,670 t-CO ₂	102.3	(二酸化炭素換算(t))③ 2,400 t-CO ₂	43.3	
	<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 5,542 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 5,670 t-CO ₂	102.3	(二酸化炭素換算(t))③-① 2,400 t-CO ₂	43.3	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出 A/B	0.47 t-CO ₂ /t	0.46 t-CO ₂ /t	97.9	0.21 t-CO ₂ /t	44.7	
	温室効果ガス排出 量と密接な関 係を持つ値 B	11907 t (生産数量)	12200 t (生産数量)	102.5	11311 t (生産数量)	95.0	
排出量等の 増減理由	2022年(令和4年)1月より再生可能エネルギー電気に変更したため。						
特記事項	工場給排気ファンの風量調整によりインバータの運転周波数を低減した。						

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書(当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書)に記入した数値を転記すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由(計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。)を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		令和 5 年度 ~ 令和 7 年度				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容				
	5	重油焚きボイラーをガス焚き高効率ボイラーに更新				
	6	蒸気・給湯配管の保温を徹底することにより熱損失を低減しボイラー負荷を軽減				
	7	蒸気配管に電動弁を追加し、不使用ラインへの送気を停止することによりボイラー負荷を軽減				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	温室効果ガスの吸収等	区 分		目標年度 (令和 7 年度) 二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等		t-CO ₂		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用		t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入		t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入		t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入		t-CO ₂		
		国内クレジットの購入		t-CO ₂		
	J-クレジットの購入		t-CO ₂			
	合 計		①		t-CO ₂	
	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準年度比 (%)	
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算 (t))② 2,400 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t))③ 2,500 t-CO ₂	104.2		
<input type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算 (t))② 2,400 t-CO ₂	(二酸化炭素換算 (t))③-① 2,500 t-CO ₂	104.2		
<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B		0.21 t-CO ₂ /t	0.19 t-CO ₂ /t	90.5		
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B		11311 t (生産数量)	13000 t (生産数量)	114.9		
目標設定に 関する説明	ボイラーの燃料転換、高効率化により排出量削減					
特記事項	冷凍設備の冷却塔・コンデンサー洗浄（定期整備）による熱交換性能の維持					

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」

の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量A/B」欄には、「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量（原単位排出量）を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑制等に関する削減目標を設定したのかを記入すること。

- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。